

## 地球環境基金助成事業 大きく育て！コットンの芽たち！

5月26日・27日にコットンの直播が行なわれました。平成24年度地球環境基金助成事業として実施される「いわきオーガニックコットンプロジェクト」の正式なスタートです。

当日は、首都圏からの援農体験ボランティアの皆さんが、延べ150名近くやって来て下さいました。そして、正に五月晴れの好天の下、いわき市内の5箇所の栽培地に入って、それぞれの栽培地を管理している仲間たちと共にマルチシートを敷き、穴を開け、種を播いて下さいました。

それぞれの栽培地では、障がい者の施設で作られたお弁当や地域のお母さんたちの手料理、グループのメンバーによる豚汁の提供など迎え入れる側それぞれが工夫を凝らした昼食でお出迎えしました。

夏の照りつける陽光の下、一面の緑の葉が風にそよぎ、黄色い綿の花がそこかしこに覗く。秋の柔らかな日差しの下、枯れ始めた茶色の葉と縫いぐるみのような薄茶色の綿(いわきでは茶綿の栽培に取り組みます)が風に揺れる。そして、いつの日か



【いわきオーガニックコットンプロジェクト】のタグの付いたおしゃれなTシャツを着た若者たちが、いわきのまちを歩く。そんな風景を思い描きながら、参加した皆が作業にあたることを楽しんでいました。

## 3.11 被災者を支える いわき連絡協議会 立ち上げ！

これまで東日本大震災後被災された方々と向かい合う活動をしてきた市民グループやNPO法人、(社)いわき市社会福祉協議会など様々な団体が連携して今後長期化が懸念される被災者支援活動を進めていこうという連絡協議会が、いわき市内に立ち上がりました。その名も、「3.11被災者を支えるいわき連絡協議会」。6月17日には、社会福祉センターにおいて設立総会が開催され、いわき市に避難しておられる町村や福島県の関係者なども含む40名を越える参加がありました。

総会後には、岩手県遠野町で被災者支援活動を行っている「NPO法人遠野まごころネット」理事長の多田一彦さんと「水俣病センター相思社」の遠藤邦夫さんを招いての講演が行なわれ、これからの活動の方向性へのアドバイスを頂きました。



## 事務所と仕分場を移転 新スタートしました！

小名浜まちづくりステーション内にあった本会の事務局は震災後、支援事業が加わり拡大したことから事務局が手狭となり、この4月下旬に移転しました。

新事務所 いわき市小名浜字蛭川南5-6 タウンモールリスポ内  
TEL 0246-52-2511 FAX 0246-38-9538

また回収してきた古着の集積場として、ボランティアの皆さんが毎日手作業で仕分を行う場所は、今まで小名浜字渚廻にありましたが「小名浜港背後地、震災復旧土地区画整理事業用地」にかかったことから、この6月下旬に移転しました。

新仕分場 いわき市小名浜諏訪町31-10

移転先となった仕分場には、仮設トイレを設置し駐車場も確保してボランティアスタッフの皆さんが安心して取り組めるよう環境整備を行いました。なお古着を提供して下さいる場合、直接新仕分場に搬入して下さいる結構です。

新たなスタートをきった事務局と仕分場をどうぞ宜しくお願いいたします。

## 情報紙「小名浜サロンだより」発行！

ザ・ピープルでは、毎月5日に小名浜交流サロンだより(情報紙)を発行しています。

今年の1月にスタート、現在7号まで発行しました。内容は小名浜地区の復興支援に関するボランティア活動の様子や、交流サロンで開催された教室に関するものを取り上げ掲載しています。また、小名浜地区のお店の紹介も順次行っています。

4ページ目の最後は、地区内外から提供されるイベントの申し出を受けて、1ヶ月のスケジュールを載せています。

発行当初は、小名浜地区にお住まいの被災者の方々を対象に1,000部だけの印刷でしたが、現在は原発事故で避難を余儀なくされ、いわき市にお住まいの広野町、大熊町、楡葉町、浪江町、富岡町、川内村の皆様方にも情報を提供したいという事で10,000部を印刷し、各役場の協力で全戸に配布していただいております。

最近はお口コミで交流サロンの存在を知って訪れる方々が増えており、増部も検討しております。

今後も色々な記事を掲載し、皆さんに喜んでいただける紙面作りに取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。



## ボランティア体験・研修相次ぐ

震災以降、本会には研修についての問い合わせが殺到しています。6月初め遠くは四国積水ハウス営業本部の皆様6名が研修のため来所されました。続いて社会福祉法人横浜市若葉台地域ケアプラザの皆様14名が、その際には心暖まる支援金を頂戴いたしました。

本会の基盤事業である古着リサイクル活動と震災関連支援事業を同時進行の形で進めていることに皆さん様に驚かれ、今後応援できるものを検討したいと語って下さいました。

6月28日には埼玉県古河市のNPO法人エイエスピーの皆様14名が来所。8月下旬に再度、被災地の視察と被災された方々へ手作りの小物プレゼントを届けて下さることになり、その打合せのため来られました。

また6月30日には南会津町から8名のボランティアの皆様が。「どんな仕事でも手伝いますよ」との力強い声援を頂いてましたので、到着するやオーガニックコットン栽培地に案内し、さっそく草取り作業をやっていただきました。暑い日中の時間帯だけに心配でしたが、無事終了。さすがは人海戦術での草むしり。全面雑草に覆われていたコットン畑は3時間ほどですっかり綺麗になりました。

7月14日には武蔵野大学の学生38名がオーガニックコットン栽培地の草取り作業に来て下さいます。

さらに7月23日には全国自治体職員有志の皆様が。8月8日には千葉県の高校生50名が「本会の活動と小名浜の現状について」の研修に来られます。

この他9月から10月にかけて、いわき市内の中学校の二校の生徒さんが総合学習の一環として古着仕分け体験に参加されます。10月から11月にかけても県外の高校生による研修予定が入っており、ボランティア体験・研修・イベントの提供申し出が相次いでおり、事務局はそれらのコーディネートに悪戦苦闘。うれしい悲鳴をあげていますが、夏本番、汗を流し応援して下さる全国各地の皆様様の真心を無駄にしないよう誠意を持って対応していきたくと思います。

## イベントカレンダー

- 7月1日(日) ..... 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 17日(水) ..... 星てる美歌謡コンサート  
(タウンモールリスポセンターコート)
- 18日(木) ..... コットンプロジェクト学習会(ラトブ)
- 28日(土) ..... 水俣からいわきの明日を学ぶ講演会(ラトブ)
- 8月1日(水) ..... 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 19日(日) ..... フラガール甲子園&第13回地球市民フェスティバル(アリオス&平中央公園)
- 9月1日(土) ..... 上荒川ヨークベニマルついたちバザー